



主題名

いじめをゆるさない

教材名

あなたならどうする?どう思う?

人権学習の視点

個別的な視点「子どもの人権問題」

主題・教材について

いじめにつながるような事象が、子ども達の周りで起こっている。いじめには「いじめる子」と「いじめられる子」だけでなく「見て見ぬふりをする子（傍観者層）」や「はやし立てる子（観衆層）」という構造が見られる。直接的であれ、間接的であれ、人を傷付けることは「いじめ」であることを認識し、自分のとった行為は人を傷付けていないか考えられる子どもを育てたい。

ねらい

いじめを他の人のせいにしたたり、いじめられる人のせいにしたたりせず、主体的に考え、行動することの大切さに気付かせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。		資料 「あなたなら どうする? どう思う?」 P24
	ア・イの絵を見て、どんな場面か考えてみよう				
展開	○ア・イの絵を見て、思ったことを自由に発表させる。	一斉	○絵を見て、どんな場面か思ったことを発表する。	○できるだけ、くわしく考えさせる。 ○一人の子どもを仲間外れにしたり、何人かでいじめたりしていることに気付かせる。	資料 「あなたなら どうする?」 P25
	三人の言うことについて考えてみよう				
開	○P25の三人の言葉について思ったことや感じたことを発表させる。	一斉	○自分の思いや考えたことを自由に発表する。	○いじめには、「いじめる子」と「いじめられる子」だけでなく、「見て見ぬふりをする子」と「はやし立てる子」というような構造があることに気付かせる。	ワークシート
	仲間外れにされたりいじめられたりした子は、どんな気持ちなのだろう				
まとめ	○仲間外れにされたりいじめられたりした子の言いたいことや気持ちを考えさせる。	個別 一斉	○言いたいことや気持ちを考えてワークシートに書く。 ○ワークシートに書いたことを発表する。	○言いたくても言えない思いについて考えさせる。 ○心や体が傷付いていることに気付かせる。	
	○仲間外れやいじめがあった時、どうするかを考えることで、人を傷付けることは、決して許されることではないことを理解させる。	一斉	○自分ならどのように行動するかを具体的に考え、発表する。	○自分のこととして考えられるようにする。 ○日常生活で生かしていけるようにする。 ○学級としてのめあてや約束を決めてもよい。	

評価

いじめを他の人のせいにしたたり、いじめられる人のせいにしたたりせず、主体的に行動することの大切さに気付くことができたか。